

自動練和タイプ「フュージョンII370」の メリットと臨床応用



ナオ歯科クリニック・一ツ橋歯科クリニック* 牧 宏佳、横山 大樹*、堺 健太郎*、鈴木 尚

印象採得においてウォッシュマテリアルが細部までしっかりと入り込むためには、トレーマテリアルによる圧力が必要不可欠であると考えている。そのため口腔内に圧接するタイミングも非常に重要な要素の一つとなる。しかしながら、従来型のディスペンサータイプでは、トレーマテリアルの押し出しが重く、アシスタントによってかなり時間のばらつきがあり、うまく口腔内に圧接できないこともあった。今回、超親水性や高い引裂強度でマージン部の印象採得に定評がある「フュージョンII」のトレーマテリアル(モノフェイス、ヘビーボディ)に自動練和タイプ「フュージョンII370」が加わったことにより、時間のばらつきが解消されたことは大きな魅力である。誰が操作しても同じ時間でトレーに盛ることができるので、常に一定のタイミングで印象採得ができるようになった。また、大容量になった点も大きなメリットである。従来型のカートリッジでは、全顎症例などにおいて常に残量を気にしながら使用しており、足りなくなるとあわててカートリッジを交換していた記

憶も少なくない。大容量になったおかげで、このような心配をする必要がなくなったので、気持ちのゆとりができ落ち着いて印象採得が行えるようになった。自動練和システムが追加されたことにより、印象採得の操作性が格段に向上したことは言うまでもない。操作時間内で確実に口腔内に圧接できるようになったため、フュージョンIIの性能を最大限引き出すことが可能となった。

フュージョンII370の臨床応用

臨床では、ウォッシュマテリアルとトレーマテリアルのフローの違いを利用して圧力を加えながら細部まで印象採得するように心がけている。「各個トレー」では、ウォッシュとモノフェイス、「既製トレー」ではエクストラウォッシュとヘビーボディの組み合わせ

で使用している。「各個トレー」の場合、事前に印象材の厚みが均一になるように調整されているので、ウォッシュマテリアルとトレーマテリアルの圧力差はそれほど必要ないと考えている。よって「モノフェイス」を選択している。「既製トレー」の場合は、部位によって印象材の厚みにばらつきが生じるため、より確実に圧力が加えられるようにしたい。よって「ヘビーボディ」を選択している。義歯印象の場合は、粘膜面全体を均一に印象したいので単一印象が可能なモノフェイスを好んで使用している。

	ウォッシュマテリアル		トレーマテリアル		
	エクストラウォッシュ	ウォッシュ	モノフェイス/ ※370モノフェイス	ヘビーボディ/ ※370ヘビーボディ	パテ
無圧時のフロー					
加圧時のフロー					

*自動練和タイプ「フュージョンII370」はモノフェイスとヘビーボディの2種が用意されている。各フローはカートリッジタイプと変わらない。



レンフェルト社の自動練和装置「シンプルス」(日本歯科商社取り扱い)。シンプルなデザインで操作も簡単である。



トレーに370タイプを盛り上げる時間は上顎全体でモノフェイス約20秒、ヘビーボディで約30秒。

■白歯の症例(各個トレー/ウォッシュ+370モノフェイス)

牧 宏佳



1 右下4,5番。支台歯形成の終了。全周が歯肉縁下マージンになっている。



2 歯肉圧排を行った状態(シングルコート)。



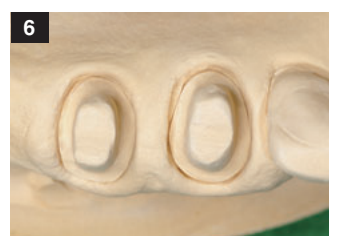
3 圧排糸除去後、ウォッシュを支台歯に盛り上げる。フローがよいわりに印象材が垂れないので確実に支台歯を覆うことができる。



4 各個トレーに370モノフェイスを盛り、採得した印象面。



5 支台歯部分の強拡大。歯肉縁下に印象材がしっかりと入りこんでいる。



6 石こう模型面。マージンが鮮明に再現されている。



■白歯の症例(既製トレー／エクストラウォッシュ+370ヘビーボディ)

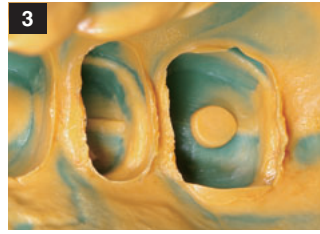
牧 宏佳



1 右上5,6番。支台歯形成が終了したところ。近遠心部分が歯肉縁下になっている。



2 既製トレーを用いてエクストラウォッシュと370ヘビーボディの2種類で採得した印象面。



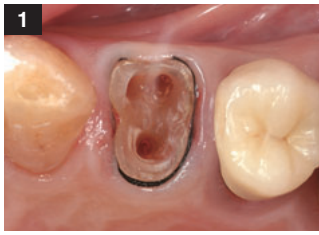
3 かなり歯肉縁下の深いところまで印象材が入り込んでいるが、ちぎれていない。フュージョンIIの高い引裂強度のおかげであろう。



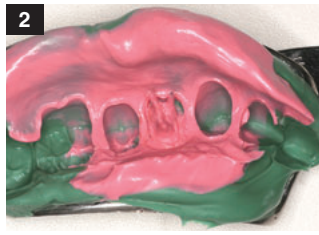
4 きっちりとマージンが認められる。

■ポストコアの症例(既製トレー／ウォッシュ+370ヘビーボディ)

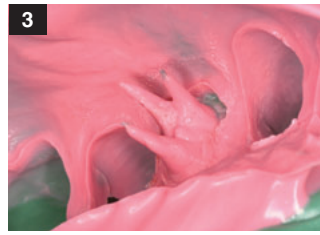
鈴木 尚



1 コアの適合は重要な基礎的補綴物の要件である。歯肉縁に近接したマージン部はコードによる確実な歯肉圧排が必要となる。



2 ウォッシュは適当なフローがありながら、エクストウォッシュよりもコシが強いのが特徴。



3 印象材が細部に流れてポストの先端も鮮明に採得された印象面。



4 相性の良い超硬石こう(ニューフジロック)により再現された支台歯の石こう模型。

■前歯の症例(各個トレー／エクストラウォッシュ+370モノフェイス)

堺 健太朗



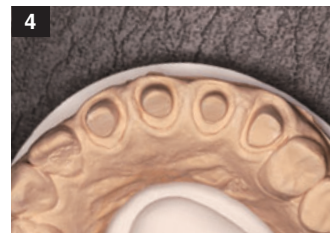
1 支台歯形成終了時。歯肉縁下の形成となっている。



2 歯肉圧排を行なった状態(ダブルコード)。



3 エクストラウォッシュ+370モノフェイスによる印象。歯肉縁下に印象材が流れ込んでいるのがわかる。



4 マージン部がきれいに再現された石こう模型面。

■白歯の症例(各個トレー／エクストラウォッシュ+370モノフェイス)

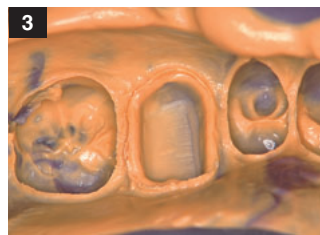
横山 大樹



1 左上6番。支台歯形成が終了し、歯肉圧排糸を巻いた状態。全周が歯肉縁下マージンである。



2 各個トレーを用いてエクストラウォッシュと370モノフェイスの2種類で印象採得を行なった。



3 歯肉縁下まで全周に印象材が入り、ちぎれは見られない。



4 石こう模型面。マージン部が鮮明に再現されている。

■デンチャーの症例(各個トレー／370モノフェイス)

牧 宏佳



1 残存歯が4本のオーバーデンチャーの症例。



2 各個トレー製作後、コンパウンドによる筋圧形成が終了したところ。



3 370モノフェイスによる単一印象。適度なフローとコシを備えており、粘膜面の印象のときには非常に扱いやすい。



4 フュージョンIIの超親水性の性質により、非常に滑沢な石こう表面が得られている。